

地域政党 神奈川ネットワーク運動

平塚 生き生きレポート 2019年春号

生活の課題は政治に直結しています。国の政党が、地方の政治までコントロールするのではなく、多様な地域政党が政策を競い住みやすいまちをつくる社会をめざします。



発行責任：神奈川ネットワーク運動・平塚 代表 佐藤 秀子 〒254-0033 平塚市老松町16-3-103 Tel/Fax0463-22-7732

松本泰子

市政にチャレンジ



1961年 福岡県生まれ（57歳）
1975年 千葉県へ転居
1980年 私立共栄学園女子高等学校卒業、第一勧業銀行入行
1982年 神奈川西ナショナル住宅株式会社へ転職
2001年 生活クラブ生協加入
2004～2008年 桜ヶ丘幼稚園クラス正役員
2009年 山下小学校PTA本部役員
2015～2017年 金旭中学校PTA学年委員、学年委員長
2018年 湘南生活クラブ生協 commons ひらつか運営委員
●家族：夫、娘2人（高校3年、1年）、ぷぷ（犬）山下在住

未来をつくり・変える

子どもの育ちを 社会で支える

◆多様な保育ニーズに応える

平塚市の保留児童数は1月1日時点で663人です。制度に働き方を合わせるのではなく、多様な生き方・働き方を支援する制度づくりが必要です。

- 一時預かり事業や派遣型サービスを充実させる
- 大きな認可保育園づくりより小規模保育施設の拡充を
- ファミリーサポート利用対象者を小学校6年まで拡大する

◆1人ひとりに寄り添った支援を

行き場のない子どもや若者が増えています。平塚市における不登校児童生徒数は増加傾向にあり、子どもの特性や環境に配慮した、切れ目のない支援が必要です。

- 多様な学びの機会をつくる
- 義務教育終了後も継続して相談やカウンセリングが受けられる環境づくりを進める
- 相談機能を充実させ、家族を丸ごと支援する

平塚市における不登校者数の推移

	小学校	中学校	計	児童生徒数
2014年度	74人	196人	270人	20,165人
2015年度	64人	187人	251人	19,857人
2016年度	88人	227人	315人	19,622人
2017年度	94人	243人	337人	19,372人

超高齢社会 地域の工夫で乗り切る

◆介護保険制度

介護保険制度がスタートして18年、改定を重ねるたびに介護の社会化が後退しています。福祉の担い手不足も深刻です。

- デイサービスやヘルパー派遣など、生活援助を充実させ、在宅生活を支える
- 介護の仕事を適正に評価し、介護の担い手を広げる

◆地域福祉

- バリアフリーを進め、暮らしのセーフティネットを広げる
- 地域資源を活用し、共同の住まいや多世代交流の場をつくる

共に生きる地域づくり

◆助け合いの広がる 地域コミュニティを形成する

地域では様々な人が働き、暮らしています。互いを認め尊重し、共に働き・暮らす社会づくりを進めます。

- 障がい児者や高齢者が暮らしやすいまちづくりを進める
- 障がいのある子もない子も共に学び育ちあえる環境づくりを進める
- 多文化共生を進める